

神奈川異グ連の活動状況を伝える機関紙 &lt;第39号&gt;

# かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議 事務局長 芝 忠

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F

TEL045-633-5142 FAX045-633-5194

Email:zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

アルメニア中小企業政策研修生・研修を終了して

## アルメニアから学んだこと

芝 忠

11月23日から12月13日まで、日本から遠いアルメニアからの中小企業政策研修生が4人来日し、JAICAから異グ連がその研修事業を請け負いました。7日には横浜市内企業を、8～9日には山梨県内企業の見学を実施しました。

この間、研修生から出された質問から私は却って自らを勉強させられました。彼らは国の中小企業支援機関に所属していますので、常に質問は日本全体はどうか、と聞いてきます。失業率、持ち家率、大学進学率、税制、金融制度等々、中々即答出来ません。直ぐ調べて回答するものの、我々の視点が神奈川に密着過ぎて、全体が見えなくなっていると思いました。アルメニアは旧ソ連から独立して10年程度なので経済復興策が重要です。戦後日本の復興策、特に資金づくりについて非常に具体的に聞いてきました。我々も改めて戦後史を勉強し直しました。

次には中国などの台頭の中で、日本の中小製造業が何故生き残れるのかが大変な関心事でした。企業見学の中でも、どの部品がここでしか作れないのか、秘密を探るのに必死です。改めて日本人の器用さ、手指の感覚などの秘密を聞いて、逆に日本の自然環境とアルメニアとの類似性に思い到ったようです。アルメニアは就職難ですが、高学歴者が多く、大学学部を2つも3つも出ている人が多い。一般的知識層は日本より高いかも知れません。ワイン工場(ワイナリー)を訪問したとき、グルジアが世界のワインの発祥地だという説を聞いて、即座に反論し、アルメニアこそがワインの始まりの土地だと文献を引用して説明していました。また試飲した3種類を研修生4人が協議して評価しました。ワイナリー社長はびっくりするとともに、ワイン伝説と品種の評価を即座に受け入れ、今後真剣にアルメニア研究を行い、ワインを試飲することを宣言しました。宝飾加工工場でも、技能的にはアルメニア人は十分対応可能と言い切りました。

彼らは大変ユーモアがあり、戦後日本が米国から支援されたのであれば、10年間位日本がアルメニアを占領して資金を投資してくれとか、地金工場では自分は問題なく仕事が出来ます、とか笑わせる。人材豊富な国のようです。大変遠い国ですが、今後の継続的交流国としては面白い位置づけになりそうです。

## 産学官交流サロンのコーナー

### 第14回よこはまサロン案内

今年の締めくくりはマーケティングです。  
テーマ:「企業成長への処方箋～マーケティング・マインドの育成とコラボレーション態勢の確立」

スピーカー: 横浜商科大学経営学部  
宮原義友教授

日時: 12月15日(木) 18:00～

場所: 横浜エクセレントビルⅢ 9F

お問い合わせ: 045-633-5142

担当幹事(芝、池谷 杉本)

申込み: fax 045-212-5547 or

045-633-5194 [idea-info@ideabank.or.jp](mailto:idea-info@ideabank.or.jp)

横浜サロン代表幹事 河津明男

### 第12回かわさきサロン案内

今月のテーマは、今年20周年を迎えた異業種交流グループ「ハイテクリバー」の牧野昭三郎会長(株)日本セレン社長)に、協同組合構想などの新たなチャレンジについて語っていただきます。

日時: 12月16日(金) 18:00～

場所: KSP西棟3F310会議室

お問い合わせ: 045-633-5142

担当幹事(芝、田中、小野川)

申込み: FAX045-633-5192

メール: [s-tanaka@saturn.dti.ne.jp](mailto:s-tanaka@saturn.dti.ne.jp)

川崎サロン代表幹事 田中繁夫

### 第11回よこすかサロン報告

12月1日(木)、神奈川新聞横須賀支社5Fにて、(株)横須賀テレコムリサーチ企画部長、大田現一郎氏(早大客員教授)に、“世界中から「携帯電話」のシリコンバレーとまで喩えられるほどに発展したYRPのパワー”について、語っていただき、その後出席者全員が、携帯電話がどこまで進化するか、おおいに夢を語り合いました。

問合せ等: TEL 045-633-5142

横須賀サロン代表幹事 八幡敬和

NPO 産業クラスター研究会

鶴野省三 046-836-6785

**尾上町サロン(毎月第一、第三金曜開催中)** やってます!! はやってます!!

開催日: 毎月第一・第三金曜日pm5:30～ (12月は16日、1月は6日、20日)

場所: 神奈川中小企業センタービル 5F 神奈川県異業種グループ連絡会議事務局

会費: 500円(現物支給でも構いませんよ!) **気楽に、ぶらっとお出でくださいますよう!!**

神奈川異グ連事務所は、12月28日(水)御用収め、1月5日(木)までお休みをいただきます。

1月6日(金)事務所開きとなり、夕刻は**新年第一回尾上町サロン**を開催します。皆様のお出でをお待ちします!

## かながわ異グ連の会員グループやプロジェクトの状況

<p style="text-align: center;"><b>オールドィーズ・シニア・クラブ</b></p> <p style="text-align: right;">小林BC</p> <p>11月11日（金）の定例会で、中澤会員から「土地に関するムダ知識」というテーマの講演がありました。土地の価格等については、分っている様で分かり難いものです。講師は「ムダ知識」と謙遜しておりますが、参考になる点が多かったので、紹介します。</p> <p>1、土地の値段について。（時価のほか）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 公示価格：今は時価に近い。毎年4月に発表される。</li> <li>2) 路線価格：「公示価格の80%」を目安として可。</li> </ol> <p>2、固定資産税課税土地価額について。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 公示価格×70%</li> <li>2) 税額は土地の使用目的や広さで変わる。マンションの場合は、面積の大きさで変わる。特に、使用目的（例えば、駐車場）により大きく変わることがあるので、節税対策上からも留意すると良い。</li> </ol> <p>3、借地権について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 住宅地の60%。</li> <li>2) 借地の上に、建物を建てる場合は、地主の承諾料5～10%を支払う。</li> <li>3) 借地権を譲渡する場合は、借地権の10%を地主に支払う。</li> <li>4) 地代＝固定資産税×3倍が目安。</li> </ol>		<p style="text-align: center;"><b>シフト21</b></p> <p style="text-align: right;">有村BC</p> <p>「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的として、原則第二火曜日に定例会を開催しています。</p> <p>12月定例会は12月13日（火）18:30 から神奈川県民センターで行いました。今月は“～到来する高齢化社会を見越した～高まるセキュリティニーズと家庭・企業での対策について”と題して、有限会社ガードアイの藤沢雅憲氏にお話をいただきました。</p> <p>シフト21では皆様の参加を歓迎しております（初回参加は無料）。お問合せは有村まで、<a href="mailto:hda00467@nifty.ne.jp">hda00467@nifty.ne.jp</a></p>
<p style="text-align: center;"><b>国際異業種交流会議</b></p> <p style="text-align: right;">高橋BC</p> <p>11月15日に2005神奈川県一韓国・京畿道との「国際異業種交流会議」が神奈川中小企業センター14階多目的ホールで開催されました。</p> <p>内容：協定書の調印式、両国の異業種交流の状況・両国の投資誘致説明・企業紹介、懇親会が行なわれました。</p> <p>参加：韓国側は京畿道の企業代表者30名および関係者5名の35名で、神奈川県側の企業代表者は25名、その他来賓およびその他関係者を合わせて34名でした。</p> <p>今後は毎年相互の信頼関係を構築して国際交流の活性化を推進し、来年は事業協力を推進させ、その翌年には事業協力を完成する予定です。</p>	<p style="text-align: center;"><b>日韓ビジネス協議会</b></p> <p style="text-align: right;">高橋BC</p> <p>第59回定例ミーティングは下記内容で開催致します。</p> <p>尚、定例会終了後は忘年会を開催致します。</p> <p>会費：2,000円 追加分は協議会で負担致します。</p> <p>日時：12月14日(水)・・・午後3時15分～5時15分 定例会 午後5時30分～7時30分 忘年会</p> <p>場所：(定例会) 神奈川中小企業センタービル・・・5階 会議室 TEL045-633-5142 (異業種グループ連絡会議)</p> <p>(忘年会) 海洋居酒屋「だんまや水産」 TEL045-231-2239</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国企業紹介・ZIPOTINC JAPAN 支社長 朴権哲氏</li> <li>・2005 国際異業種交流シンポジウム・台湾の報告 高橋導徳氏</li> <li>・韓国ITビジネス商談会2005の報告 日本事務所 朴魯鍊氏</li> <li>・神奈川県一京畿道「国際異業種交流会議」の報告 瀧澤清氏</li> <li>・基調講演：「新会社法」について・・・ 司法書士 中谷智明氏</li> </ul> <p>関心ある企業の参加を歓迎致しますが参加時には必ず事務局の高橋まで連絡して下さい。</p> <p>TEL：045-311-0094、MAIL：<a href="mailto:mtakahas@tb3.so-net.ne.jp">mtakahas@tb3.so-net.ne.jp</a></p>	

<p><b>まんてんプロジェクト、JASPA関係</b> 千田BC</p> <p>10月の全国大会の後、各方面からの関心が高まっており（財）日本航空工業会から正会員として参加の誘いがあった。</p> <p>まんてんメンバー企業が参加して進めている水上飛行機開発に関し11月2日の日刊工業新聞1面トップに12月に横浜国立大学にて新型フロートの水槽実験を開始するとの記事が掲載された。この実験の様子は全国向けのTVニュースでも取り上げられる予定である。そのほか、まんてんに関し、中小企業関係の情報誌、海外メディアからの取材申し込みがあるなど、情報の広がりを見せている。このような状況を踏まえ、来年1月から、全会員向けのニュースレター「まんてんニュース」を発行する計画で、準備を進めている。これには、航空宇宙に関する国内外の情報、JASPAの受発注の情報、助成金の情報などを掲載する計画である。</p>	<p><b>新防食技術活用プロジェクト</b> 田中BC</p> <p>11月8日（火）開催の例会には10名の参加があり、新たな活動として、社会インフラの腐食損失の削減を前面に掲げて、共同で提案型営業を推進することとしました。協同営業を推進するために、オムニバスの営業パンフレットを作成することにしました。次回例会は12月7日（水）15:00より横浜駅西口「かながわ県民サポートセンター」708会議室で開催します。新規会員の参加を歓迎しています。</p>
<p><b>INF（異業種グループネットワークフォーラム）新潟IT大会</b> 田中繁夫BC</p> <p>草の根運動INF（異業種グループネットワークフォーラム）を立ち上げて9年、先鋭的な企業、大学、公的機関の皆様の献身的な力添えで、今日まで継続発展する事ができました。INFは中小企業間の「業際ビジネス」の支援を目指し、業種や地域の垣根を越えて連携の輪を広げる仕組みの構築を提案してきました。</p> <p>今回の全国会議は、INFと「新潟の異業種交流グループ」、そして「IT経営応援隊」とのアライアンスで、「ITとネットワーク」に絞り込んだ「新IT経営全国会議」を<b>平成18年2月8日（水）に新潟市</b>で開催いたします。ITの現状課題に取り組みつつ、次なる展望としての「経営がわかる、儲けが見える」明るい未来を創造して行ければと思っています。お忙しいとは存じますが是非参加ください。</p> <p>下記の6つの分科会とITビジネスマッチングを行います。ホームページ参照：  <a href="http://www.inf-jp.com/index.htm">http://www.inf-jp.com/index.htm</a></p> <p>第1分科会：SSNETで自立と共存元祖 SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）  第2分科会：21世紀を勝ち抜く中小企業のIT活用戦略  第3分科会：強靱な企業体質作り、欠かせぬ新IT経営  第4分科会：オフコンプラットフォームへの移行  第5分科会：インターネットと衣食住  第6分科会：インターローカル</p>	

## 10月28日「地域中小企業と大学との共同行動シンポジウム」の報告

**分科会1、航空宇宙産業 全国中小企業地域連携シンポジウム**

千田BC

主催：まんでんプロジェクト

後援：JAXA、(財)日本宇宙環境利用推進センター、(社)関東ニュービジ社協議会、(社)日本ニュービジ社協議会。

航空宇宙に関連する地域の中小企業グループを一同に会するわが国初めての全国大会で、北海道、新潟、宮城、諏訪、茨城、東京、神奈川、千葉、静岡、島根、東大阪、九州の団体、企業のほか政府機関、大学、報道機関、金融機関、議員など100名の参加者があった。

システムメーカを代表し、三菱重工およびNTスペーステクノロジー社から、中小製造業に対する期待が表明された。また神奈川県産総研副所長の唐沢氏をコーディネータとするパネル討論会では、まんでんプロジェクトのほか北海道衛星株式会社、東大阪宇宙開発協同組合、九州衛星プロジェクト、浜松の宇宙航空技術利活用研究会の代表から活動事例、課題等に関する発表と討論があった。各地でビジネスモデルは異なるが宇宙開発に参入しようとする意気込みが公表された。

最後に来賓の岸参議院議員から、日本の航空宇宙産業の活性化の必要性と中小企業の果たす役割への期待が述べられた。事務局が当初予想した以上盛況であった。

**分科会2、新舗装プロジェクト**

織方盛男BC

10月28日(金)「地域中小企業と大学との共同行動シンポジウム」に、分科会2として参加しました。

- |                                |                 |       |
|--------------------------------|-----------------|-------|
| 1、高機能環境舗装の開発と事業化               | (協) かながわビルコン理事長 | 吉澤俊一  |
| 2、道路舗装の資源環境と課題                 | 東北工業大学委託研究員     | 竹内健二氏 |
| 3、視覚障害者のための横断歩道「エスコートライン」の実験報告 | n 横浜国大大学院助手     | 大田篤史氏 |
| 4、環境改善への「アースワン」応用事例            | (協) かながわビルコン    | 小野義昭氏 |
| 5、廃棄セラミックのリサイクル利用              | 加納製陶(株)取締役社長    | 加納由喜氏 |

の報告があり、会場との活発な質疑応答が行われました。

なお「アースワン」の今後の応用分野は無限といてよく、例えば温暖化対策、リサイクル、バリアフリー対策、廃棄物の活用など、道路舗装に限らず二次製品への応用を逐次規格具体化していきたい所存です。

**分科会3、横浜・野毛地域飲食店の活性化と商学交流**

杉本明子BC

メインはパネルディスカッションで、まず、各々のパネラーから飲食店街の現状や課題等のコメントをいただき、その後テーマに沿って質疑応答の形で進行了ました。横浜国大教授の三戸浩氏からは「横浜・野毛地域飲食店の活性化と商学交流」のテーマをいただき、歴史的経過から見た飲食店街の成り立ちや、今後の将来的可能性について大きな視点でのご提案がありました。続いて城西国際大学教授の福田順子氏からは、そのものズバリ「野毛・飲食店街の活性化」と題してまちが衰退して行った経緯や、飲食店街とまちとの関わり方についてのお話があり、野毛飲食店街に向けての私案をいただきました。そして、エコで全国にその名を馳せた早稲田商店会の事業部長藤村氏のお話は、実体験から来る迫力とアイデアに満ちた、迫力ある報告となりました。そんな中で、身近にある課題の出来るところから、アイデアに一工夫を加え、実行して行くのが動き易くて良いのではという提案が印象的でした。

肝心の野毛飲食店街とはいえば、藤沢副理事長が孤軍奮闘、地元参加者でたった一人だけの参加者となったこ

とを確認されて、恥かしそうにソツと手を挙げていました。ただ、その後議論が白熱してくると、参加者の乗りも良くなる中、今日の話をもみんなに聴かせたかったとポツリと呟いた副理事長の心境が痛いほど伝わってきました。せめて、協力者が後2人いてくれれば何とか具体的に動き出せるのでは、と思わずにはられません。

まず、商店街が現状認識をして危機感を強く持つことが先決だと判断され、その確認がない限り自主的にはなかなか動き出さないとされます。まだまだ、時間はかかると思いますが、これだけ特徴的で名前も全国区レベルの野毛は、金看板をフル活用していません。これから発掘できる可能瀬も多分に秘めており、周囲を熱くさせるだけのものを持っているだけに、後は熱意と協力体系が確立できれば期待が持てるのではないかと密かに思いを馳せてはいるのですが...

ここが活性化すれば、全国の商店街がどれ程勇気付けられるか、その影響力は大きいと思われます。異グ連はいつでも飛んで行きますのでお忘れなきようにと、声を大にしてお伝えしておきます。

アンケートに関しては、まだ余り集まっておりませんので、ご協力いただける方は、ぜひ事務局までお立ち寄りください。喜び勇んでアンケート用紙をお渡しいたしますし、居酒屋ラリー実施の際には、もしかしたらおいしいサービスが期待できるかも知れません。

ある程度まとまったら、サロン横須賀バージョンで好評を博した居酒屋ラリーの野毛偏を実施したいと思っておりますので、その折はぜひ皆様のご協力をいただきたく、よろしく願いいたします。 乞う ご期待！

### 特別寄稿文

#### アルメニア紹介 その3 首都エレバンへの行き方

加糖文男BC

アルメニアへ行くと言っても簡単ではない。現在最も一般的なルートは、オーストリアの首都ウィーン経由である。成田を出発してウィーンへ向かう。東京ーウィーン間は、9170km、飛行機のスピードは、時速2800マイル、約860kmである。約13時間を要する。ウィーンとエレバンの間は、2381kmで約3.5時間かかる。成田から12時間西へ飛んでそれから逆に3.5時間戻ることになる。実際に飛ぶところも一度モスクワ上空を越えてウィーンへ入る。成田を出発してしばらく西へ向かって飛んだ後、日本海を北に向かい、ハバロフスク、シベリア、モスクワを通過してウィーンへ飛ぶのである。

飛行機は、オーストリア航空とANAの共同運航。機内誌は、オーストリア航空のものだけしかない。スチワードに聞いてもただないというだけである。なぜかわからない。別の便では、ANAの機内誌しか置いてないのかもしれない。日本人客が多いのだから両方老いても良さそうに思うのだが。

モスクワまでは高度9600mで飛ぶ。それ以降は高度をあげて10700m、機外の温度はマイナス49℃(マイナス59度F)を表示していた。そして、モスクワを過ぎてから高度を更に上げて11600mでウィーンへ向かう。成田からエレバンへの直行便があれば、距離的には、8時間余りで飛ぶことができる計算である。直行便がないために一度ウィーンへ飛び、乗り換えなければならない。ウィーンからエレバンへは、航空機の便が少ないためにウィーン空港で6~7時間待つことになる。このようにして成田を出発して、アルメニアの首都エレバンに到着するまで24時間以上かかる。ロシア経由で行く方法もある。時間的には、短縮になるはずである。しかし、モスクワ空港は乗り換えや荷物などトラブルが多いので敬遠され、モスクワ経由で行くことは少ないようである。最近ドイツのルフトハンザ航空がエレバンからミュンヘンへ週3便飛ぶようになった。これからは、ドイツ経由でエレバンへ入る方法も考えられる。いずれにしても12~13時間飛んで欧州へ入り、エレバンに戻ってくることに代わりがない。アルメニアは、ヨーロッパよりも遠い国である。

**お馴染み「まいど竹沢の勝ってメール」を見て、私も考え込んでしまいました。皆さんはどうですか！！**

広島の子殺害事件から、次々に悲しい事件が多い。(中略) 先日、駅のホームで小学1年ぐらいの少年2人が、TVの怪獣ドラマのようなことを時折、バシッ! グワンといった音響まで入れ、空想に夢中で遊んでいた。周囲のことは、全く気になっていない様子。小学生にしては、幼い行動だったが2人はとても気があっていた。身に着けているものは、お揃いではなかったが顔も背丈も同じような感じだったので、思わず「双子なの？」と聞いてみた。すると1人の子が「いえ、知りません。ごめんなさい」と、つつけんどんに答えた。その後、2人はまた、怪獣の世界に。次の駅で2人は風のように走り去っていった。

知らないおばさん(竹沢で〜す!・笑・)に声をかけられたんだから、子どもも、びっくりしたのかもしれないが、その回答に、私も驚いた。自分たちの世界だけで、周りとはコミュニケーションとれないと、相手が何を考えたり、感じているか分からないじゃん!! 危機を察知する感が衰えちゃうかも? 常に、人を信頼できなくなっちゃう!! う〜ん・このことだけでなく気になる! 気になる! ということが近頃多い。

本当にどうしたらいいんだろうか!

フィールドサービス遊の竹沢佐知子さまのメルマガからいただきました。

ご投稿を歓迎いたします。かながわ異グ連事務局(広報) t e l 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 4 2 , f a x 0 4 5 - 6 3 3 - 5 1 9 4